

# 【栗東市 介護サービス事業所調査結果】

令和2年4月

栗東市

# 目 次

1	調査の概要	
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査実施状況	1
	(3) 調査基準日	1
	(4) 報告書の見方	1
2	調査の結果	
	(1) 貴事業所について	2
	(2) サービスの実施状況について	3
	(3) 事業所運営について	6
	(4) 栗東市の高齢者施策全般について	13

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

『第8期栗東市高齢者福祉計画・介護保険事業計画』を策定するにあたり、高齢者福祉施策を検討する際の重要な基礎資料として、市内で介護保険サービスを提供している事業所の皆さまのご意見等をお伺いする目的で実施しました。

## (2) 調査実施状況

調査実施期間：令和2年1月20日～令和2年2月3日

調査対象：市内の介護サービス事業所（58事業所）

回収数及び回収率：58事業所（100%）

## (3) 調査基準日

令和2年1月1日

## (4) 報告書の見方

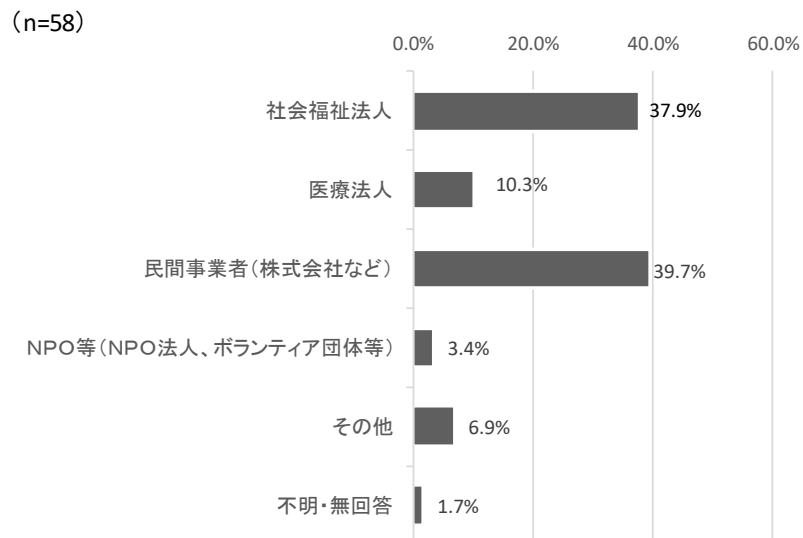
- 集計に当たっては、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書内の文章、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- グラフのN数（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

## 2 調査の結果

### (1) 貴事業所について

#### 問 1 貴事業所の概要をお答えください。(運営形態)

回答いただいた事業所の運営形態は「民間事業者」が 39.7%、「社会福祉法人」が 37.9%、次いで「医療法人」が 10.3%となっています。



## (2) サービスの実施状況について

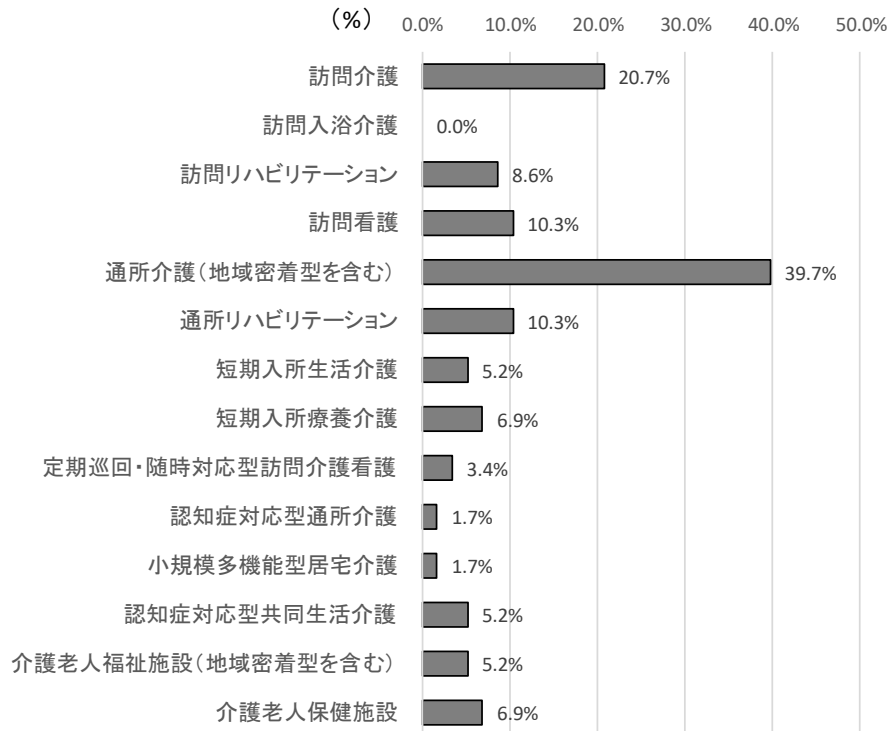
問2 貴事業所が提供しているサービスの種類（予防型サービスを含む）と利用者人数の状況について、ご記入ください。（令和元年12月のサービス提供状況を記入してください）

提供しているサービスの種類は、「通所介護（地域密着型を含む）」が39.7%で最も多く、次いで「訪問介護」が20.7%、「訪問看護」、「通所リハビリテーション」がともに10.3%と続きます。

平成29年度と比較した利用人数の状況については、「増加」が43.1%で最も多く、次いで「同程度」34.5%、「減少」は20.7%と「増加」の半数以下となっています。

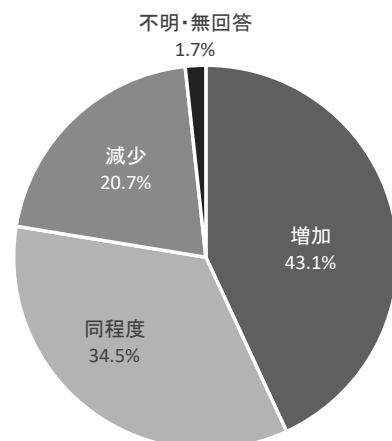
### ◇サービスの種類

(n=58)



### ◇平成29年と比べた利用人数

(n=58)





問 2-1 【問 2 で利用者が「増加」または「減少」と答えた方のみ】

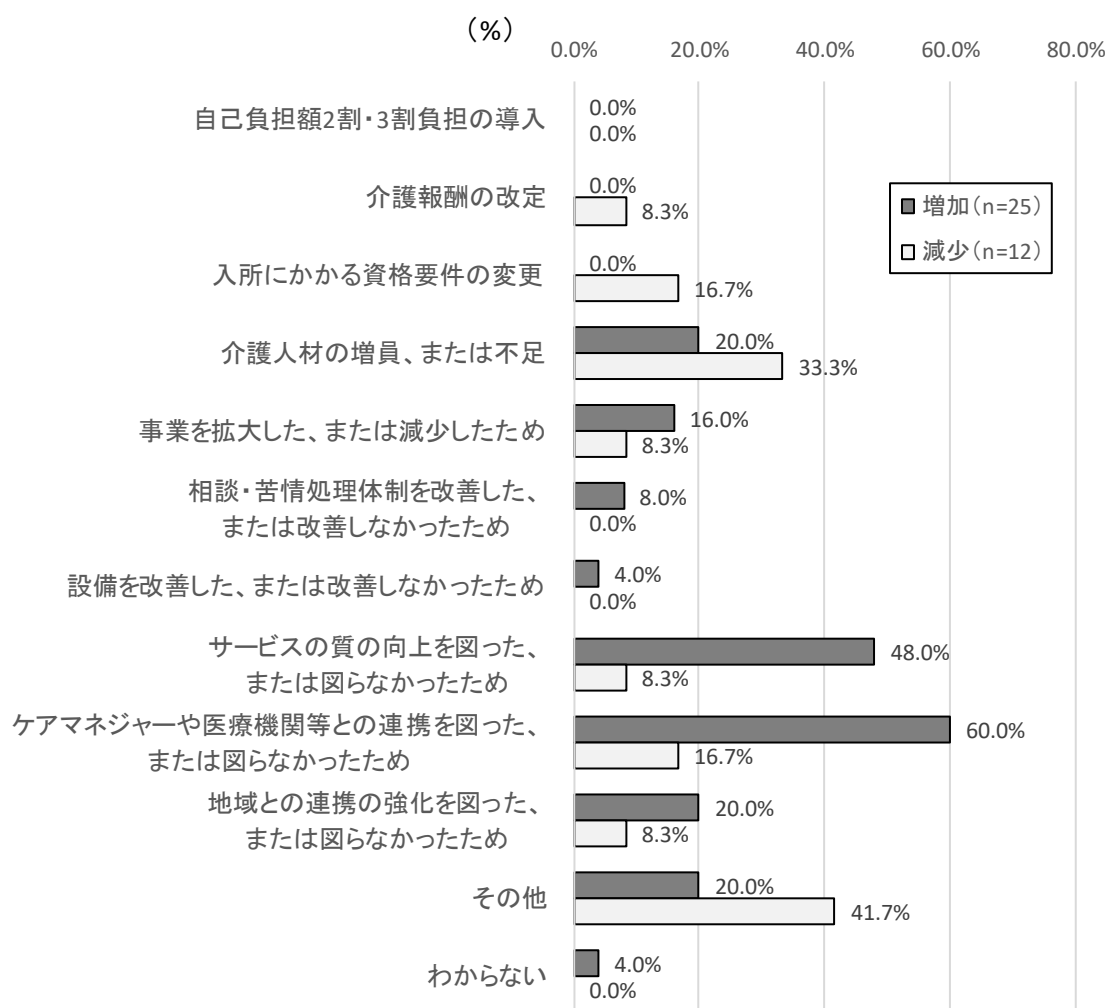
増加または減少したことについて、考えられる主な要因についてお答えください。

(〇はいくつでも)

利用者が増加または減少した要因については、以下の通りとなっています。

増加の要因としては「ケアマネジャーや医療機関等との連携を図ったため」が 60.0%で最も多く、次いで「サービスの質の向上を図ったため」が 48.0%、「介護人員の増員」が 20.0%となっています

減少の要因としては、「その他」が 41.7% (5 件) であるのを除き、「介護人材の不足」が 33.3%で最も多く、次いで「入所にかかる資格要件の変更」、「ケアマネジャーや医療機関等との連携を図らなかったため」がともに 16.7%となっています。その他の内容としては「地域に同じ事業所が増加」(2 件)、「営業日数の短さ」(2 件)、「体調不良者(入所または入院者)の増加」となっています。

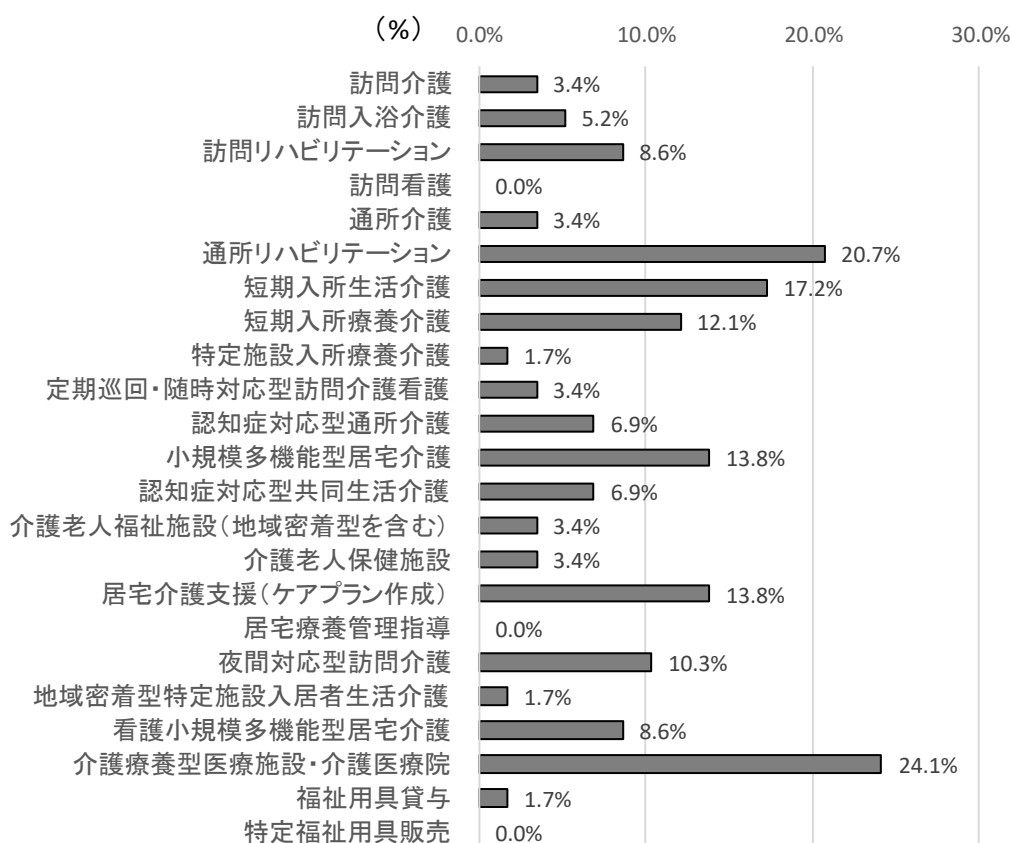


### 問3 栗東市民に対して不足していると考えるサービスはありますか？

(〇はいくつでも)

栗東市民に不足していると考えるサービスとしては「介護療養型医療施設・介護医療院」(24.1%)、「通所リハビリテーション」(20.7%)が2割を超えています。次いで「短期入所生活介護」が17.2%、「小規模多機能型居宅介護」、「居宅介護支援(ケアプラン作成)」がともに13.8%で続きます。

(n=58)





### (3) 事業所運営について

#### 問4 【問2で「1. 訪問介護」、「5. 通所介護」と答えた以外の方】

現在提供されているサービスの利用（入所）定員（または見込み）と利用（入所）者数について記入してください。（令和元年12月のサービス提供状況を記入してください）

訪問介護、通所介護以外のサービスの利用（入所）定員、利用（入所）者数等の状況は以下の通りとなっています。

各事業所の回答を平均すると、利用（入所）者数（99人）が利用（入所）定員（60.4人）を上回り、利用（入所）定員に対する利用（入所）者数割合は163.9%です。また、1日あたりの平均利用者数の平均は36.7人となっています。

回答のあった事業所の入所待ち人数の平均は37.7人、うち栗東市民は16.5人となっています。

	平均	総数	回答者数	最小	最大
利用（入所）定員（または見込み）	60.4	906	15	10	228
利用（入所）者数	99	1782	18	13	706
1日あたり平均利用者数	36.7	661.05	18	4	98.7
入所待ち人数	37.7	415	11	0	243
（うち栗東市民の数）	16.5	182	11	1	76

---

#### 問4 【問2で「1. 訪問介護」、「5. 通所介護」と答えた方のみ】

現在提供されているサービスの利用定員（または見込み）と利用者数について、次の表に対象者別に記入してください。（令和元年12月のサービス提供状況を記入してください）

---

訪問介護、通所介護サービスの利用定員、利用者数等の状況は以下の通りとなっています。  
要介護1以上について、各事業所の回答を平均すると、利用者数（89.4人）が利用定員（15.7人）を上回り、利用定員に対する利用者数割合は171.5%です。また、1日あたりの平均利用者数の平均は15.7人となっています。

回答のあった事業所の入所待ち人数の平均は0.6人、うち栗東市民は0.4人となっています。

##### ◇要介護1以上

	平均	総数	回答者数	最小	最大
利用定員（または見込み）	52.3	1,361	26	10	702
利用者数	89.4	2,682	30	1	591
1日あたり平均利用者数	15.7	471	30	1	38
入所待ち人数	0.6	10	16	0	2
（うち栗東市民の数）	0.4	6	16	0	2

要支援・総合事業対象者について、各事業所の回答を平均すると、利用者数（14.7人）が利用定員（12.8人）を上回りますが、利用定員に対する利用者数割合は114.8%で要介護1よりその差は小さくなっています。また、1日あたりの平均利用者数の平均は2.0人となっています。

回答のあった事業所の入所待ち人数の平均は0.1人、うち栗東市民は0人と少ない状況です。

##### ◇要支援・総合事業対象者

	平均	総数	回答者数	最小	最大
利用定員（または見込み）	12.8	268	21	2	78
利用者数	14.7	368	25	1	89
1日あたり平均利用者数	2.0	46.5	23	0.1	11
入所待ち人数	0.1	1	13	0	1
（うち栗東市民の数）	0	0	13	0	0

問5 貴事業所の従業者（介護職員）の人数と内訳についてお答えください。

従業者（介護職員）の人数と内訳について各事業所の回答を平均すると、以下の通りとなっています。

従業者の人数（18.3人）については男性より女性の方が多く、また女性では「非正規職員」、「派遣職員」の割合も比較的高くなっています。

従業者の平均年齢は46.0歳となっています。

従業者のうち資格保持者（13.7人）の内訳をみると、「介護福祉士」10.1人、「看護師・准看護師」3.6人、「介護初任者研修」2.8人、「実務者研修」1.4人、「介護支援専門員」1.1人となっています。

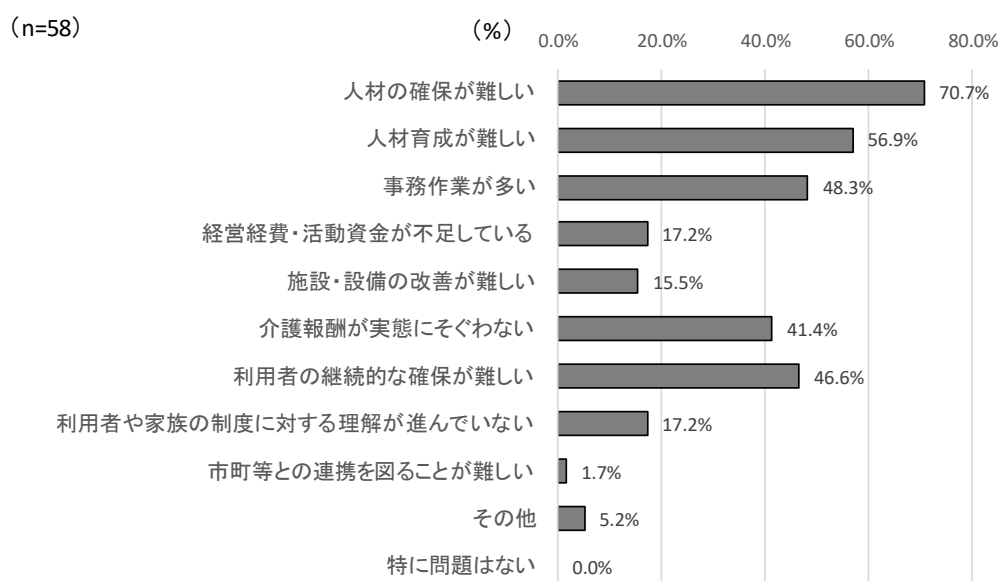
最近の採用状況については、採用者が離職者を「正規職員」「非正規職員」ともにやや上回っており、過去1年間の採用者の合計は平均で3.7人となっています。また、離職者の平均勤続年数は2.4年となっており、回答のあった31件中7件（22.6%）は1年未満で離職しています。

従業者の人数（人）					18.3
	性別	正規職員	非正規職員	派遣職員	合計
	男性	5	2.1	0.04	6.3
	女性	7.5	7.9	0.4	15.2
従業者の平均年齢（歳）					46.0
従業者のうち資格保持者（人）					13.7
	介護福祉士	介護支援専門員	看護師・准看護師	介護職員初任者研修	実務者研修
	10.1	1.1	3.6	2.8	1.4
平成31年1月から令和元年12月までの採用状況（人）					
		正規職員	非正規職員	合計	離職者の平均勤続年数 （年）
	採用者	2.2	2.3	3.7	
	離職者	1.8	1.3	2.5	
					2.4

※なお、回答いただいた「合計」と性別等内訳をそのまま入力しているため、「合計」と内訳の合算とが一致していません。

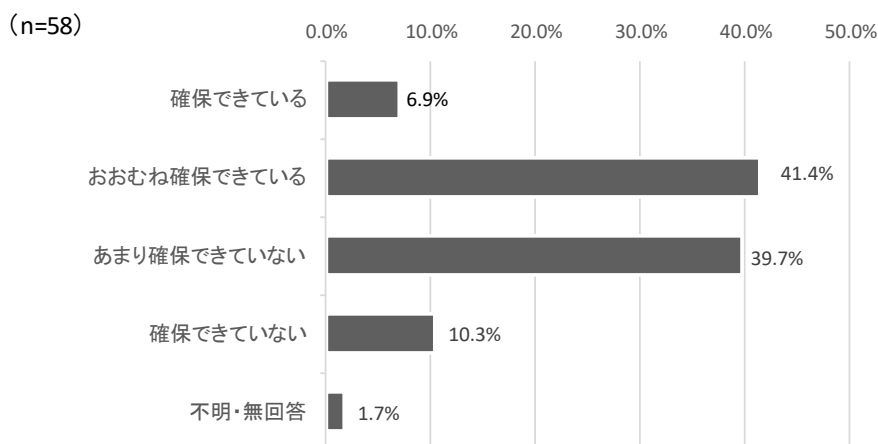
## 問6 貴事業所の運営に関して、現在困難を感じることは何ですか？（〇はいくつでも）

運営に関して困難を感じていることについては、「人材の確保が難しい」70.7%、「人材育成が難しい」56.9%と、特に人材面での困難が多く挙げられています。続く「事務作業が多い」48.3%、「利用者の継続的な確保が難しい」46.6%、「介護報酬が実態にそぐわない」41.4%も4割を超えて多くなっています。



## 問7 この1年間、貴事業所における介護人材の確保について、おおむねどのような状況ですか？（〇は1つ）

介護人材の確保については、「おおむね確保できている」が41.4%で最も多いものの、「あまり確保できていない」39.7%、「確保できていない」10.3%を合わせると、半数が希望通り確保できていない状況が伺えます。

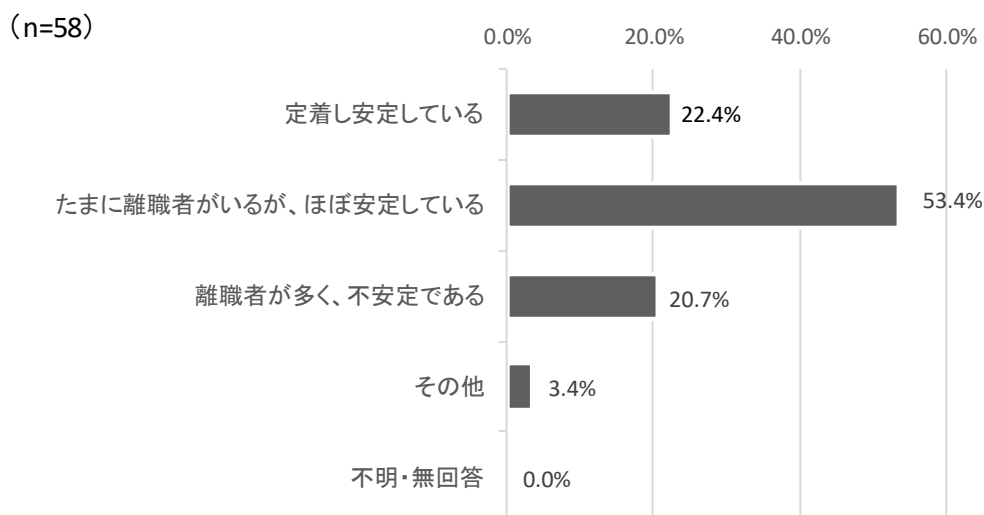


---

問8 この1年間、貴事業所における職員の定着について、おおむねどのような状況ですか？（〇は1つ）

---

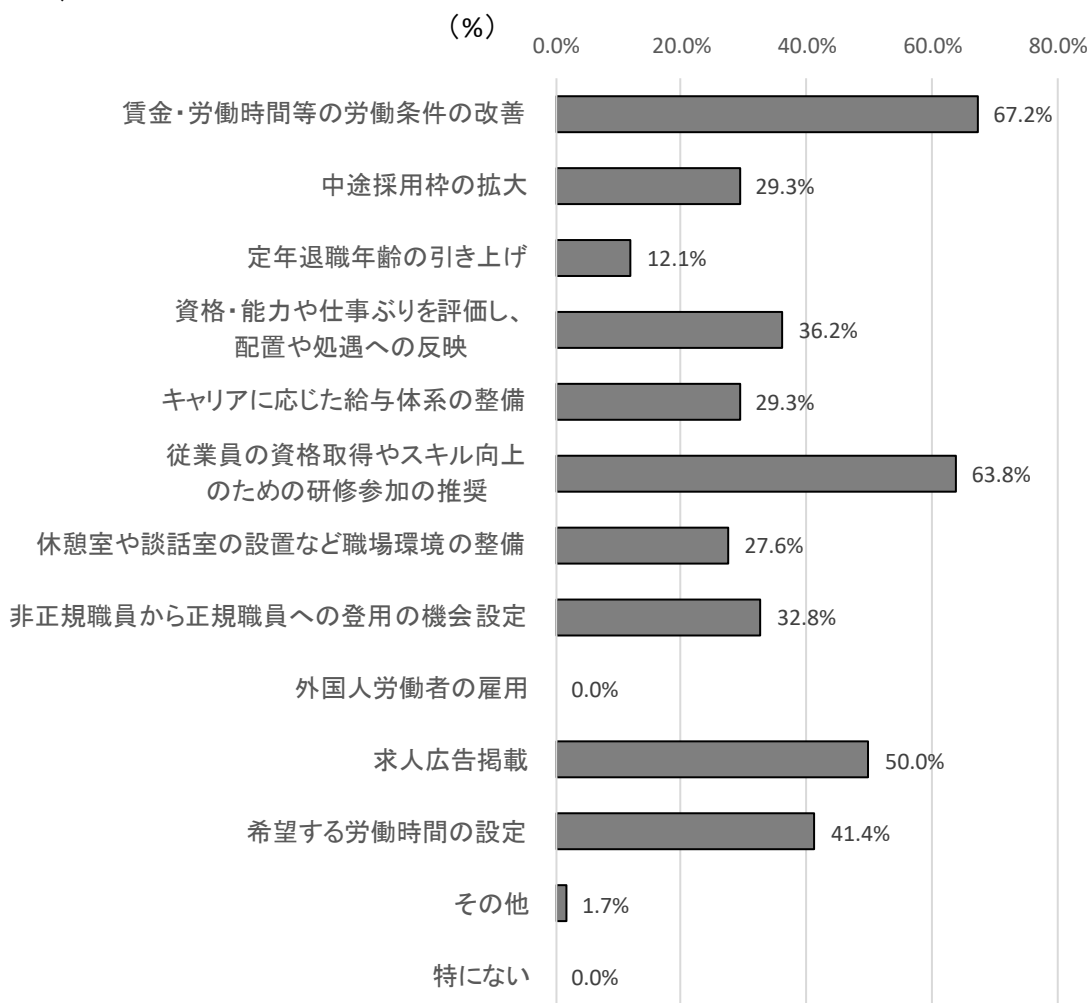
職員の定着については、「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」が53.4%で最も多く、次いで「定着し安定している」が22.4%となっています。一方、「離職者が多く、不安定である」という事業者も約2割となっています。



## 問9 人材を定着させるために取り組んでいることは何ですか？（〇は1つ）

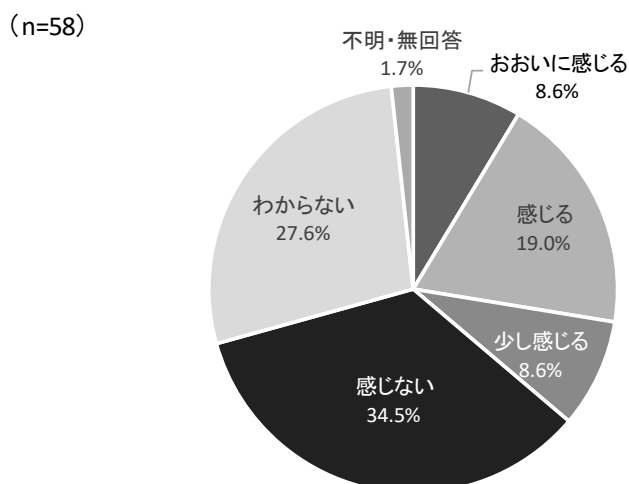
人材を定着させるために取り組んでいることとしては、「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が67.2%で最も多く、次いで「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」が63.8%、「求人広告掲載」が50.0%となっており、「特にない」は0%となっています。

(n=58)



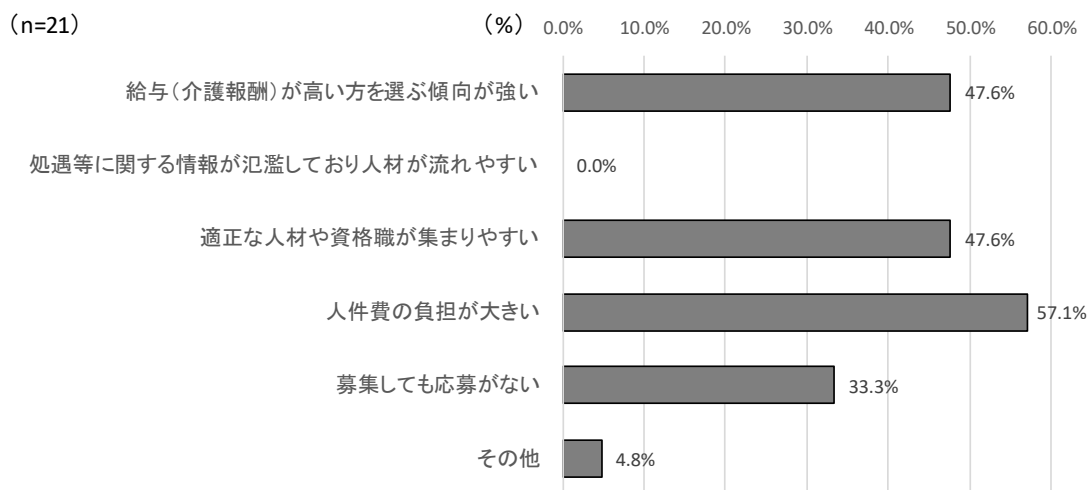
問 10 貴事業所では、求人や人材採用にあたり、近隣市町との地域区分（級地）による影響を受けていると感じますか？（〇は1つ）

近隣市町との地域区分（級地）による影響については、「感じない」が34.5%、次いで「わからない」が27.6%となっています。一方、「おおいに感じる」8.6%、「感じる」19.0%、「少し感じる」8.6%を合わせると「感じない」を上回る36.2%が影響を感じています。



問 10-1 【「おおいに感じる」、「感じる」、「少し感じる」と答えた方のみ】  
感じる影響の理由は何ですか？（〇はいくつでも）

影響を感じる理由としては、「人材費の負担が大きい」が57.1%で最も多く、次いで「給与（介護報酬）が高い方を選ぶ傾向が強い」、  
「適正な人材や資格職が集まりやすい」がともに47.6%、「募集しても応募がない」が33.3%となっています。

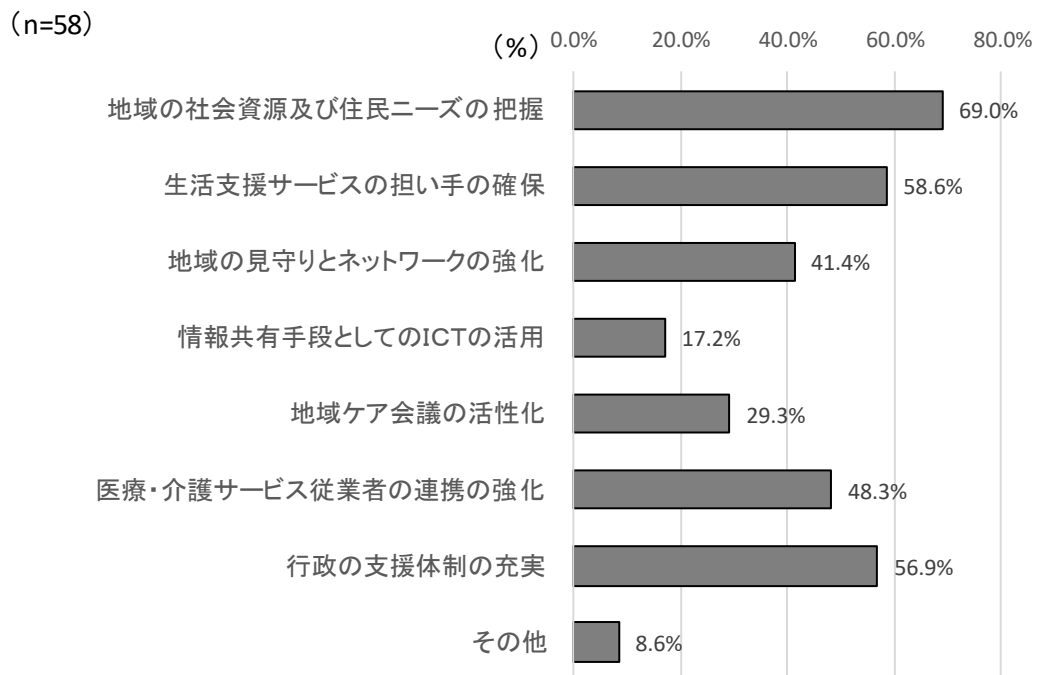


## (4) 栗東市の高齢者施策全般について

### 問 11 地域包括ケアシステムを構築するために必要なものは何と考えますか？

(〇はいくつでも)

地域包括ケアシステムを構築するために必要なものについては、「地域の社会資源及び住民ニーズの把握」が69.0%で最も多く、次いで「生活支援サービスの担い手の確保」が58.6%、「行政の支援体制の充実」が56.9%、「医療・介護サービス従業者の連携の強化」が48.3%、「地域の見守りとネットワークの強化」が41.4%と続きます。

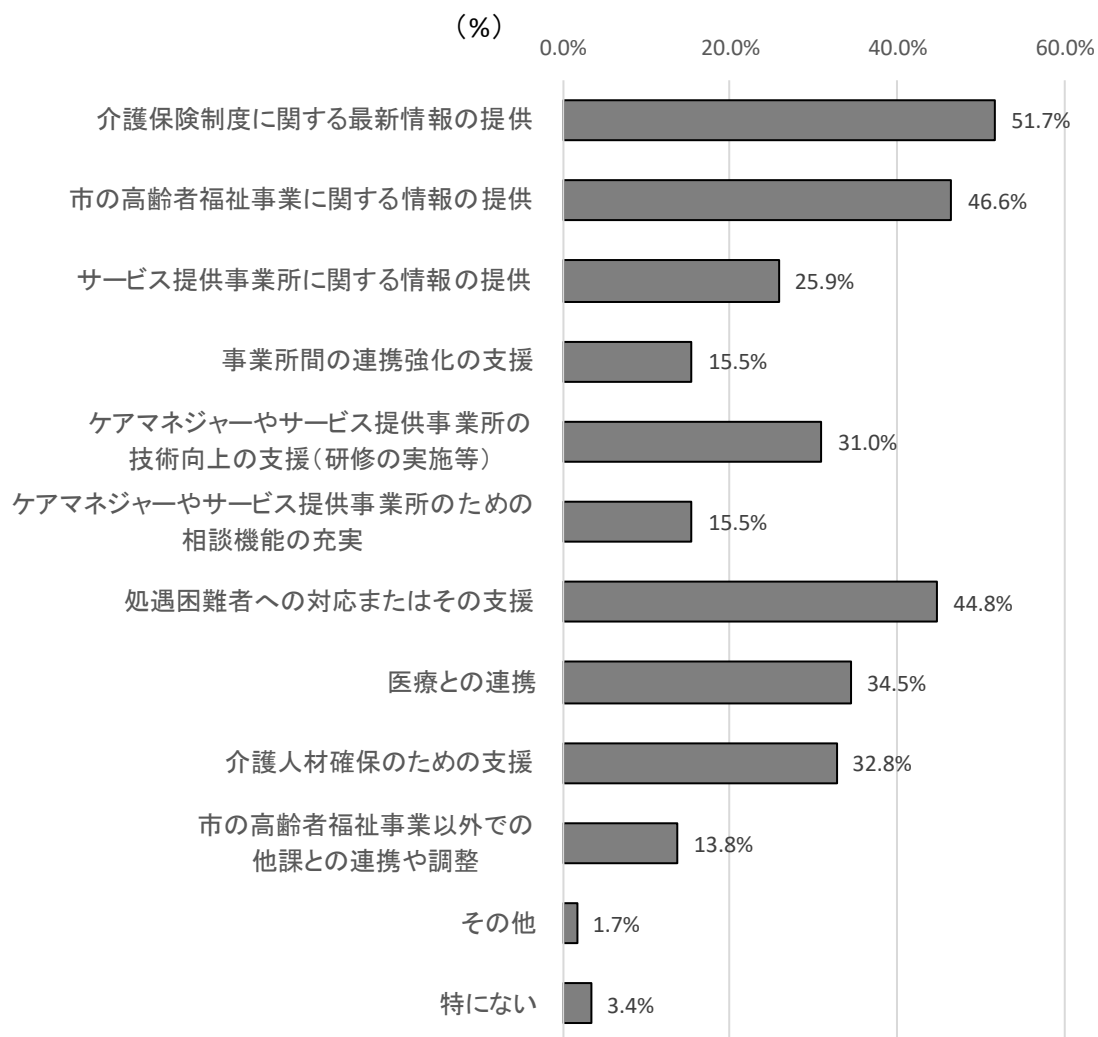




## 問 12 サービスの提供を行ううえで、行政の支援等が必要だと思われることは何ですか？（〇は3つまで）

行政の支援等が必要だと思われることについて、上位2項目は「介護保険制度に関する最新情報の提供」が51.7%、「市の高齢者福祉事業に関する情報の提供」が46.6%と情報提供に関する項目となっています。続く「処遇困難者への対応またはその支援」も44.8%で割を超え、比較的多くなっています。

(n=58)



### 問 13 その他、ご意見・ご要望がありましたら、自由にお書きください。(自由記述)

その他、ご意見・ご要望については、10件の意見が寄せられました。以下に、3つのキーワードに分類し、それぞれのご意見(原文ママ)を掲載します。

#### 人材確保・人材育成について(4件)

今後も人材不足の状況が続くと思われますので、是非とも市をあげて協力して頂きたいと思えます。よろしくお願い致します。

ハローワークと行った仕事フェスの再開を希望します。

12月に開催された「訪問介護のしごとフェア」に参加させていただきました。直接雇用にはならなかったのですが、資格取得されながら仕事に就いておられない方々にヘルパーの仕事を理解していただくよい機会になったと思えます。また開催される時には是非お声がけくださいますようお願い致します。特定処遇改善加算によりヘルパー各人の給与面で潤うことにはなりましたが、地域区分を5級地にあげていただくことと事業所自体の経営が安定していくのではないかと期待します。定期巡回随時対応型のCMからの問い合わせは少しいただくのですが、「限度額オーバーするから定期へ」といった理由で利用対象にならないケースが殆どです。都市部と違い需要は無いのでしょうか。

介護の担い手不足で、施設入所のニーズは右肩上がりに増えている。その中で、老人福祉施設は老人保健施設に比べニーズが高くなっている。栗東市も施設的には増えてきているが、人材不足等で充分稼働できない施設もある。人材確保や財政面でのサポート等、施設運営が継続できるような対策を望みます。

#### 市の方針や方向性について(4件)

市内の介護サービス事業者向けの集団指導のような研修(運営や人材確保、保険制度の情報)をお願いしたい。

地域密着通所介護なので、滋賀県の集団指導の対象でないため、内容(県での)が把握できないので、栗東市においても変更内容などの指導を行ってほしい。例えば、生活相談員の条件が変わり、一部緩和されたことを知っていればシフト作成ももう少し取り組みやすく、従業員にも負担がかからなかったと思える時がありました。栗東市が県の施策に準じているのであれば、県での方針を年度末には栗東市の方針として早めに打ち出してほしい。(通知ではなく一同に集めて)

栗東市においても単独世帯や高齢者介護世帯が増えてくると予測される。地域の中でどのようなサービスが今、必要なのかを皆で話し合い、高齢者が住み続けられるように環境を整えていくことが必要だと考えます。自分が75歳の後期高齢者になって、介護してくれる者もいないという状況の中で安心して生活が続けられるかどうか、将来的に不安がつのってきます。

行政自身が支援ニーズにアウトリーチしていくやり方にはコスト的に限界があるため、多種多様な方々に届けるPRの方法や地域資源との連携の中で、地域資源を活用した支援ニーズへのアプローチをより活性化していただきたいと考えます。

## サービスの提供について（2件）

老福施設などを活用し介護サービスに至るまでのサービスの充実を図るようにしてもいいと思います。なごやかセンターにのみ設置されている機械ルームを他の施設の使用頻度の低い部屋を活用して実施したり市内体育館などにも高齢の方が活用しやすい機械ルームを設置し、介護予防や健康増進を図るなど。

定期巡回随時対応型のCMからの問い合わせは少しいただくのですが、「限度額オーバーするから定期へ」といった理由で利用対象にならないケースが殆どです。都市部と違い需要は無いのでしょうか。